

# 市議団速報

e-mail:info@jcp-niigata-shigidan.com NO126

2016年1月29日  
日本共産党  
新潟市議会議員団  
電話 025-226-3450  
FAX 025-223-7748

## 国保運営協議会が答申案「保険料は据え置きを視野に」 人口減少対策で行政視察―飯塚議員、平議員

新潟市の国民健康保険運営協議会は1月21日、2016、17年度の保険料について「据え置きを視野に入れ、一般会計からの繰り入れについて、最大限の努力を払うことが妥当」とする答申案をまとめた。

市側から国保会計の厳しい収支見通しが示される一方、加入者の負担増に配慮し、「値上げか据え置きか」を明言することを避ける形となりました。これを受けて新潟市が国保料率の改定方針を決定することになります。

市保険年金課によると、新潟市の国保会計は2017年度



古町十字路で国保署名を集める党議員団

末に約37億9千万円の累積赤字が生じ、これを全額保険料で補う場合、1世帯当たりの保険料(医療給付費分)は、18.42%の値上げとなり、年間約10万4千円から約12万3千円になる見込みです。

前回の運営協議会では、加入者の負担に配慮し、保険料の据え置きを求める意見が大半を占め、その財源についても一般会計からの繰り入れの増額を求める発言が多く出されてきました。委員からは、「国保をよくする会の資料を見た。引き下げの署名も集められている」との発言もあり、引き下げ署名が委員に影響を与えていることがうかがわれました。

### 一般会計繰入額は政令市16位

#### 繰入れの大幅増額は可能

新潟市の一人当たりの一般会計繰入額は6,524円。政令市の平均は11,443円であり、新潟市は平均の6割、政令市20市中16位です(2014年度)。政令市の平均程度の繰入れをすれば、国保料の引

き下げは十分可能です。

### 古町・本町で国保引き下げの署名を実施

1月16日(土)古町十字路での街頭署名には、共産党議員団から五十嵐完二、飯塚孝子、野本孝子、平あや子の4議員が参加しました。



高松市・丸亀商店街を視察する飯塚、平議員ら

### 人口減少対策調査特別委員会 行政視察―飯塚議員、平議員

1月19日から21日までの3日間、飯塚孝子議員、平あや子議員の2名が所属する人口減少対策調査特別委員会の視察で、岡山、高松、京都の市役所を訪れました。今回の目的は人口減少に歯

止めをかける、「地方創生総合戦略」について、各市の取り組みについて調査することです。

2014年度、移住人口が最も多かったのは岡山県の1737人で前年度より1000人以上も増加しています。岡山市では、移住・定住の促進のために、サテライト移住相談窓口(東京)の新設、お試し住宅の提供などの施策が講じられていました。

京都市は、「京都創生」という独自の基本理念をつくり、「人の『数』の追求だけではなく、一人一人が笑顔で、安心して生き、暮らせる社会を追求する」としています。

人口減少対策の要である安定した雇用の確保については、「本意非正規の正規化」を掲げ、「京都ならではの働き方改革推進」を打ち出している点が特徴的でした。非正規雇用の高い宿泊・小売・飲食店関連事業者や行政、大学等で構成する研究会を設置し、具体的な方策を検討するということです。

非正規雇用の職員が4割を超える本市でも早急に取り組むべき課題であると感じました。

